

## 製粉ミュージアムで楽しく製粉の原理が学べる！ 新規ワークショップ“製粉ラボ教室” Ver. II がスタート

日清製粉グループ（株式会社日清製粉グループ本社 社長：見目 信樹）は、発祥の地である群馬県館林市の企業文化施設“製粉ミュージアム”において、手軽に製粉（小麦から小麦粉を採り出す）工程を楽しめるワークショップ“製粉ラボ教室”をパワーアップさせ、“製粉ラボ教室” Ver. II を開始します。

### ■パワーアップした“製粉ラボ教室” Ver. II で、製粉の原理を楽しく学ぼう！

製粉ミュージアムでは、2014年より、ミニチュア版の機械を使って手軽に製粉工程を体験できるワークショップ“製粉ラボ教室”を開催しています。

多くのご来館者にご好評をいただいている“製粉ラボ教室”は、現在使用している“ロール機”と“シフター”のミニチュア版の機械に加えて、同じく製粉工程の要となる機械“ピュリファイヤー”と、製粉工程中の“空気搬送（ニューマチック）システム”の仕組みが見えるミニチュア版の機械をそれぞれ新たに導入します。

そして2019年1月20日（日）より、これら4つの機械を使用した新しいワークショップ“製粉ラボ教室” Ver. II を開始します。

### ピュリファイヤーの“ピューリー”（愛称）

ピュリファイヤーは“ロール機”、“シフター”と併せ、製粉工程の要となる機械の1つです。機械内部の篩ふるいに振動と空気を与え、胚乳（小麦粉となる部分）とふすま（小麦の皮）のわずかな比重の違いを利用して、それぞれを分離します。“ピューリー”は、その仕組みを再現した当社オリジナルのミニチュア版の機械です。



### 空気搬送（ニューマチック）システムの“ニューマー”（愛称）

製粉工場には数多くの機械が配置されています。機械と機械の間はパイプで繋がれており、小麦・小麦粉等はパイプの中を空気力によって運ばれます。これをニューマチック（空気搬送）システムといいます。“ニューマー”はその仕組みを再現した当社オリジナルのミニチュア版の機械です。



## ■ “製粉ラボ教室” Ver. II 実施概要

製粉ミュージアムでは、今回パワーアップした“製粉ラボ教室” Ver. IIを通して、小中学校の社会科見学や一般生活者向けに、広く社会教育資源としてPR活動を行い、製粉技術の一端をより分かりやすく紹介します。また、当社グループのCSR活動の一環としても定着を図っていきます。

- ・名 称：製粉ラボ教室（Ver. II）
- ・場 所：製粉ミュージアム
- ・対 象：小学生以上の方
- ・開催日程：①毎月第1・第3日曜日の午後1時～/午後3時～（各回約30分）  
②小中学校社会科見学、および10名様以上20名様迄の団体に希望される場合は、別日程でも承ります。
- ・申込方法：上記①については事前申込不要、先着順（20名）。②については、事前に製粉ミュージアムへお電話にてお問い合わせの上、お申し込みください。
- ・参加費：無料

### 《「製粉ミュージアム」施設概要》

名 称：製粉ミュージアム（Nisshin Milling Museum）

所 在 地：群馬県館林市栄町6-1

（東武伊勢崎線「館林駅」西口下車すぐ）

※駐車場については、製粉ミュージアムWEBサイトにてご確認ください。

電 話：0276-71-2000

FAX：0276-71-2300

開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）

休 館 日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）、  
年末年始等

入 館 料：大人200円、子ども（小・中学生）100円



▲製粉ミュージアム本館

◆製粉ミュージアムWEBサイト

<https://www.nisshin.com/museum/>

この件に関する報道関係者の皆様のお問い合わせ先

株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当： 関<sup>ひらき</sup>・白石<sup>しろいし</sup>

電話：03-5282-6650 メール：[mailbox@mail.nisshin.com](mailto:mailbox@mail.nisshin.com)